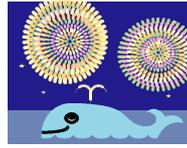


嶺っ子便り

8月



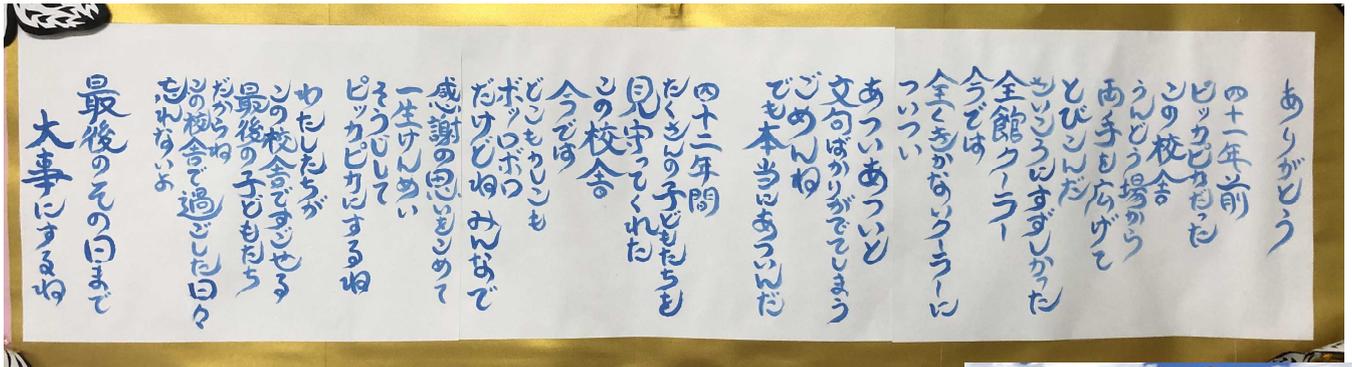
令和2年8月21日
那覇市立石嶺小学校
校長 砂川 深雪



例年と変わって短い夏休みが終わり、本日から1学期後半がスタートという8/11付けの書き出し予定が、感染症拡大の影響で臨時休業となり、本日に至っています。さらに、8/30まで学校休業となることが決定されました。

気になる学習のことですが、本校は、授業時数を余裕をもって予備時数確保するために、今年度の日課表・週時程も組んでいましたので時数の確保はされています。始業式後の臨時休業で授業開始は遅れましたが、本校の先生方は、臨時休業も含め、その都度、教育課程の見直しを行い、当該学年の学習内容は全て終了できる見通しを再確認しておりました。しかし、8/24～1週間休業となると、予備授業時数が減るため、今後の学びの保障について協議している中、市教委より、9/12、9/26、10/10、10/24、11/7、11/21の土曜日午前授業決定との通知がありました。学校再開後も45分の授業を大切に真剣に取り組み、家庭学習も並行させながら嶺っ子の学力を向上させていきます。家庭においても、学力向上の土台となる健康管理、基本的な生活習慣の確立・家庭学習の確認をよろしくお願いいたします。【裏面参照ください】

引き続き、感染症・熱中症への予防もご留意ください。健康観察シートは、毎日、児童・同居家族の健康状態も確認の上、必ず毎朝夕記入し、登校時には持参させるようにお願いします。



旧校舎

7/22(水)朝の校内放送での校長講話を載せます。

「嶺っ子のみなさん おはようございます。2020年平成2年7/22の本日石嶺小学校の今の校舎・教室で過ごすのも今日が最後になります。

今から41年前 昭和54年1979年に石嶺小学校が創立されましたが、石嶺小学校の校舎はまだありませんでした。そのため、校舎ができるまで その当時の嶺っ子は 城東小学校と城北小学校に分かれて学校生活を過ごしていました。もしかすると みなさんのお父さん お母さんも体験しているかもしれません。本校の仲里真理子先生もその当時の嶺っ子でした。そして、その年の9/1に今の校舎ができて やっと 嶺っ子全児童が一同に揃い 石嶺小学校の校舎で過ごせるようになりました。

【ここで、1階の廊下に掲示されている真理子先生の「ありがとこの詩」上記を読みました。】

この校舎で過ごせる 最後の嶺っ子である 1年生から6年生のみなさん。今年は、コロナの影響で、学校がお休みになったこともありましたが、嶺っ子のみなさん 一人一人の胸に 今までのいろいろな思い出があることと思います。校舎が 教室があるからこそ 学校生活を過ごすことができるのです。このことを忘れずに感謝の気持ちをもって この校舎・教室に今までありがとう お世話になりました。そして、これからも がんばるからね、さようならと過ごしてください。これで この校舎で過ごす最後の日のメッセージとして校長先生のお話を終わります。」 …午後、児童は自分の椅子・机を新校舎へ運びました。



非行防止教室

7/17(金)体育館にて、密集しないように、低・中・高学年ごとに

低・中学年は、「いじめ・万引き防止」、高学年は「サイバー犯罪防止教室」について那覇警察署少年課講話を聴きました。学校・地域・家庭においても子ども達を見守りましょう。



第1回生活リズムチェック (6/15~19)集計結果 令和2年7月31日 学推部

★各学年ごとの集計(グラフ)とめあて・ふり返り・保護者コメントについては、別紙で配布

チェック項目	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
①早起きができた [6時半までに起きる]	84	88	87	86	90	96
②朝ごはんを食べた	99	99	99	99	98	97
③目標時刻までにねた [低・中・高学年ごと]	64	58	73	58	74	79
④ノーテレビ[ネット動画等も含む]タイムがもてた	85	76	77	74	78	70
⑤家庭学習ができた	98	95	98	96	97	96
⑥家庭読書ができた[教科書の音読・一人読書]	74	72	65	65	58	62
⑦家の手伝いができた	77	71	72	69	76	78

(数値は達成率)



【考察】

- ①「早起きができた」は、高学年が一昨年は70%台、昨年は80%台と年々アップしている。継続的に生活リズムチェックを行うことで定着に繋がっている。
- ②「朝ごはんを食べた」は ほぼ100%に近いが、各学年、数人への個別指導が必要か？家庭へ協力お願いすると同時に、児童自身に朝食を食べて登校するという意識をもたせる。
- ③「目標時刻までにねた」【1・2年：9時まで 3・4年：9時半まで 5・6年：10時までに寝る】昨年度と比べてほとんどの学年で低くなっている。臨時休校での生活リズムの乱れが影響していると考えられる。睡眠時間が十分取れていない児童もいると思われる。
- ④「ノーテレビタイムがもてた」は、1年生と5年生を除く4学年で下がっており、コロナ休校の影響で生活リズムが乱れたことが伺える。家庭の協力が大きく関わってくるので、保護者へお願いする。また、テレビだけでなく「ノーゲーム・ノーチューブ」等もあわせて指導する必要がある。
- ⑤「家庭学習ができた」ほぼ定着している。担任による家庭学習ノートへのコメントやお手本の掲示等が定着に繋がっていると思われる。家庭学習の手引きを学年初めに配布しているが、内容が反映されていない児童がおり、学年掲示板に貼るなど年間を通して意識づける必要がある。
- ⑥「家庭読書ができた」は、特に高学年の達成率が低い。家庭学習にかかった時間をチェックし取り組み方の見直しを図ったり、その週の宿題に「最近読んだ本」「オススメの本」などの日記を宿題にしたりするなどの対応策が必要。
- ⑦「家の手伝いができた」は、昨年に比べ全学年（1年生を除く）1～6%程度下がっている。対応策としては、くつ並べやお皿のかたづけなど「家の仕事一覧表」を示しできそうな手伝いをイメージさせる。家族の一員としての自覚、自己有用感を高めるためにも家族で話し合っって取組みを促すことも意欲向上に繋がるのではないかと。

★ 基本的な生活リズムを確立させるためには、保護者の協力が必要です。

1. 家庭における取組 (『分かる授業Support Guide』沖縄県教育委員会より抜粋)

児童生徒一人一人が毎日の授業に意欲的に取り組むためには、その基盤となる生活リズムの確立や規範意識などの基本的な生活習慣の形成が不可欠である。そのためには、家庭において日常生活に必要な習慣を身に付けさせるとともに、心身の調和のとれた発達を図る必要がある。下記事項は全て学習意欲の向上につながる取組である。

■基本的な生活習慣の形成に係る取組→ 情緒の安定、規範意識の醸成等

- あいさつ、○早寝・早起き・朝ごはん、※特に、朝食の摂取については徹底
- 時間を守る、○家庭学習時間の設定・確認、○家庭での仕事や手伝い

■親子のコミュニケーションに係る取組→ 情緒の安定、目的意識の高揚等

- 学校での出来事を話し合う
- 家族読書に取り組み、お互いに本の内容について話し合う
- ◎将来の夢や目標（将来就きたい職業をもとに進学する学校を決める）について話し合う

